

優先度	
A	事業採択の考え方に基づき、事業の必要性が高く、令和5年度に実施する事業・・・（採択）
AB	事業採択の考え方に基づき、事業の必要性は高いが、必要性や緊急度等を精査の結果、他の優先度Aの事業に比べると令和5年度に実施する必要性が低いと考えられる事業（令和6年度以降に実施）・・・（実施年度を先送りした採択）
B	事業採択の考え方に基づき、事業の必要性はあるが、令和5年度に実施する必要性が低いと考えられる事業・・・（次期実施計画で再検討）
C	事業の必要性が低い、若しくはないと考えられる事業・・・（不採択）
—	事業の実施を予定していたが、国・県等の動向に伴い取り下げられた事業

◆優先度別事業数及び査定事業費（第4回査定）◆
（一般会計）

優先度	事業数	第4回査定事業費			合計
		一般財源 【うち特別会計等への繰出金等】	地方債 (市債)	その他 (補助金等)	
A	153	12億182万円 【3億9,519万円】	11億1,270万円	11億8,551万円	35億3万円
AB	15	—	—	—	7,113万円
B	6	—	—	—	646万円
C	0	—	—	—	0円
—	1	—	—	—	210万円

※金額の端数は四捨五入
※A以外は要求事業費で計算

（特別会計等）

優先度	事業数	第4回査定事業費			合計
		一般財源 【うち一般会計からの繰入金等】	地方債 (市債)	その他 (受益者負担等)	
A	17	3億1,519万円 【3億1,519万円】	4億8,740万円	3億1,131万円	11億1,390万円
AB	3	—	—	—	4,920万円
B	0	—	—	—	0円
C	0	—	—	—	0円

※金額の端数は四捨五入
※A以外は要求事業費で計算